

平成 2 9 年度学校評価の集計結果及び分析

1 調査の概要

(1) 調査の目的

各学校・園の学校評価から市全体を分析し、結果を関係各課において共有するとともに、学校・園への学校経営に関する指導及び支援を効果的に行うため。

(2) 調査仕様

調査対象

各学校(園) の学校評議員、児童生徒(小学校 4 年以上)、保護者及び教職員

	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	合 計
学校評議員	31人 (96.9%)	404人 (93.1%)	170人 (88.5%)	605人 (91.9%)
保護者	427人 (96.2%)	25,981人 (82.1%)	12,415人 (74.1%)	38,823人 (79.5%)
児童生徒		21,664人 (97.8%)	16,631人 (91.9%)	38,295人 (95.1%)
教職員	71人 (100.0%)	2,520人 (95.1%)	1,337人 (99.4%)	3,928人 (96.6%)

() 内は回収率

調査方法

学校(園) 経由で調査票を配布・回収

調査期間

平成 2 9 年 1 2 月 ~ 平成 3 0 年 1 月

調査内容

ア 共通項目 14項目(幼稚園：13項目)

イ 学校独自項目 3項目程度

共通項目一覧

「H29年度」徳・知・体の調和のとれた人づくりのための学校教育の推進（小・中学校用）

1	徳・知・体の調和のとれた教育の推進	豊かな心を育む	1	一人一人の児童生徒の尊重	評	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。
				保	学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。	
				子	先生方は、みなさん一人一人の気持ちを考えて接してくれていますか。	
		教		学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。		
		2	友達への思いやり	評	子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。	
				保	お子さんは、友だちとなかよくしていると思いますか。	
				子	あなたは、友だちとなかよくしていますか。	
		教		子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。		
		3	道徳・心の教育の充実	評	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）	
	保			学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）		
	子					
	教	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）				
	確かな学力を育む教育の推進	4	意欲的な学習態度	評	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	
				保	お子さんは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	
				子	あなたは、すすんで授業を受けていますか。	
				教	子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	
		5	授業力向上	評	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	
				保	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	
				子	授業は、わかりやすく楽しいですか。	
				教	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	
		6	ICT活用	評	先生方は、コンピュータやデジタルテレビなどのICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。	
保				先生方は、コンピュータやデジタルテレビなどのICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。		
子				先生方は、コンピュータやデジタルテレビなどのICT機器を使ったわかりやすい授業をしていると思いますか。		
教				先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。		
7	健康づくり	評				
		保	お子さんは、好き嫌いなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。			
		子	あなたは、好き嫌いなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していますか。			
		教	子どもは、好き嫌いなく食事し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。			
2	子ども一人ひとりを大切に 教育の推進	8	児童生徒理解	評	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
				保	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
				子	先生方は、あなたのことをよくわかってくれていると思いますか。	
				教	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
		9	いじめや問題への対応	評		
				保	学校では、いじめや問題があったときすぐに対応してくれていると思いますか。	
				子	先生方は、いじめや問題があったときよく話を聞いてくれますか。	
				教	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	
		10	学校の支援体制	評	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
				保	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
				子		
				教	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
3	安全で良好な教育環境の整備	11	安全と事故防止	評	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
				保	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
				子	あなたは、事故防止などの安全に気をつけて行動していますか。	
				教	学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	
		12	施設・設備の安全管理	評	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
				保	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
				子	学校の教室やろうか、トイレ、運動場などは、安全で使いやすいと思いますか。	
				教	学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
		13	教育方針・目標の理解	評	学校は、学校の教育方針や教育目標などをわかりやすく示していると思いますか。	
				保	学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。	
				子	あなたは、学校のめあてや目標がわかっていますか。	
				教	学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。	
14	家庭や地域との連携協力	評	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。			
		保	先生方は、保護者とよく連携をとって教育活動を進めていると思いますか。			
		子				
		教	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。			

「H29年度」徳・知・体の調和のとれた人づくりのための幼稚園教育の推進（幼稚園用）

1	徳・知・体の調和のとれた教育の推進	豊かな心を育む	1	一人一人の園児の尊重	評	幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。
				保	幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。	
				教	幼稚園は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていますか。	
		2	友達への思いやり	評	子どもは、友だちとなかよくしていますか。	
				保	お子さんは、友だちとなかよくしていますか。	
				教	子どもは、友だちとなかよくしていますか。	
		3	道徳・心の教育の充実	評	幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）	
				保	幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）	
				教	幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）	
	確かな学力を育む	4	意欲的な活動	評	子どもは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していますか。	
				保	お子さんは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していますか。	
				教	子どもは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していますか。	
		5	遊びや生活の充実	評	先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。	
				保	先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。	
教				先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。		
6	ICT活用	評				
		保				
		教				
育の推進	7	健康づくり	評			
			保	お子さんは、好き嫌がなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。		
			教	子どもは、好き嫌がなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。		
2	子ども一人ひとりを大切に 教育の推進	8	児童生徒理解	評	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
				保	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
				教	先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	
		9	いじめや問題への対応	評		
				保	幼稚園では、いじめの問題があったとき、すぐに対応してくれていると思いますか。	
				教	幼稚園では、いじめの問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	
		10	幼稚園の支援体制	評	幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
				保	幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
				教	幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	
		3	安全で良好な教育環境の整備	11	安全と事故防止	評
保	幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。					
教	幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。					
12	施設・設備の安全管理		評	幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。		
			保	幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。		
			教	幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。		
家庭・地域との連携強化	13		教育方針・目標の理解	評	幼稚園は、家庭に園の教育方針や教育目標などをわかりやすく示していると思いますか。	
				保	幼稚園は、家庭に幼稚園の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。	
				教	幼稚園は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。	
	14		家庭や地域との連携協力	評	幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。	
				保	先生方は、保護者とよく連携をとって教育活動を進めていると思いますか。	
				教	幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。	

2 小中学校の結果及び分析

- 1 枠囲みの割合は、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」）の割合を合計したもの
- 2 割合は、100分の1%の値を四捨五入しているため、合計した値において±0.1%の誤差が生じる場合がある。

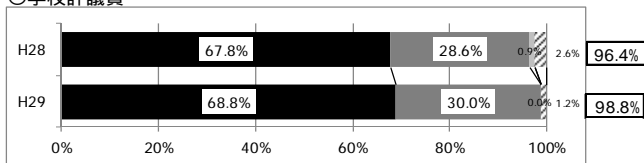
(1) 徳・知・体の調和のとれた教育の推進 豊かな心をはぐくむ教育の推進

項目1 一人一人の児童生徒の尊重 【人権教育指導室】

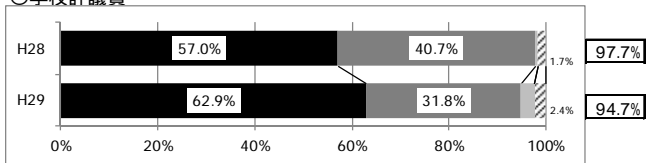
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

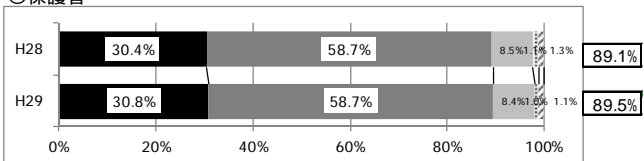
【小学校】
○学校評議員



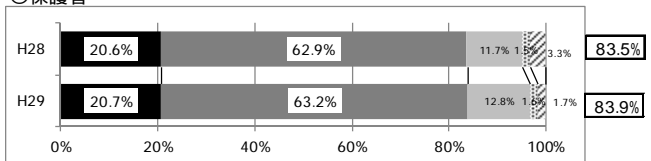
【中学校】
○学校評議員



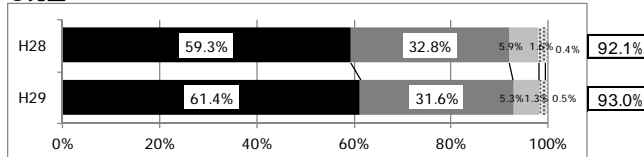
○保護者



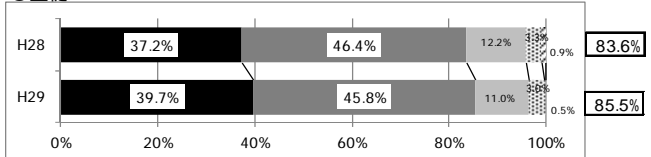
○保護者



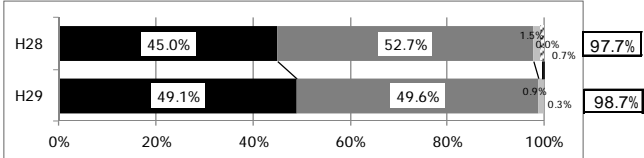
○児童



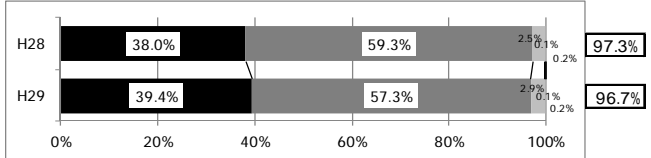
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

全体的には、小学校、中学校ともに昨年度データよりも肯定的な回答の割合が上昇している。数値的に最も大きく変化しているのは小学校の学校評議員で2.4%の上昇が見られる。保護者においては、小学校、中学校ともに0.4%上昇している。児童生徒に関しても、小学校で0.9%、中学校で1.9%の上昇が見られる。また、教職員は小学校で1.0%の上昇が見られる。多くの小中学校において一人一人の存在や思いを大切にされた学力保障の取組、互いの良さや可能性を認め、ともに高まり合う仲間づくり、温かい言語環境をはじめとした人権に配慮した環境づくりが丁寧になされている学校が増えてきた成果だと考える。

一方で、中学校の学校評議員の肯定的な回答の割合は、昨年度より下降している。内訳を見ると、「そう思う」が5.9%上昇しているのに対し、「どちらかといえば、そう思う」が8.9%下降している。（トータルで3.0%下降）加えて、中学校の教職員も0.6%の下降が見られる。学校評議員だけでなく、日常的に生徒に接している教師自身の評価が低下していることは課題である。教師から生徒への言葉遣いや、一人の人間として尊重し温かく接する態度等、教育公務員として目に見える形での改善が求められている。

すべての学校現場において、さらに児童生徒の自尊感情を上げていくためにも、子どもたち一人一人の実態にきめ細かく目を向け、保護者や地域の願いや思いに寄り添いながら教育活動を推進していく必要がある。教育委員会としても、授業改善の視点や教職員の人権感覚を高めるための情報発信を計画的・積極的に行っていきたい。

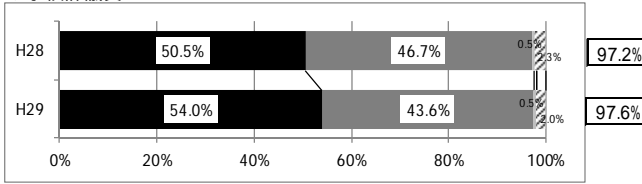
項目2 友達への思いやり 【人権教育指導室】

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

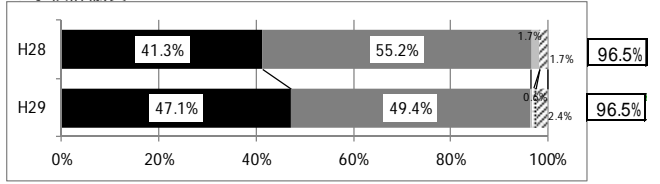
〔小学校〕

○学校評議員

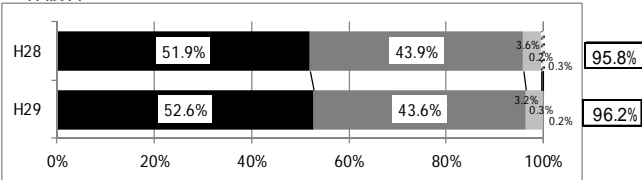


〔中学校〕

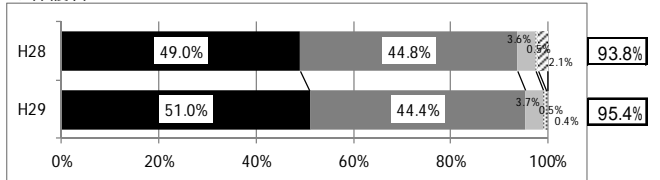
○学校評議員



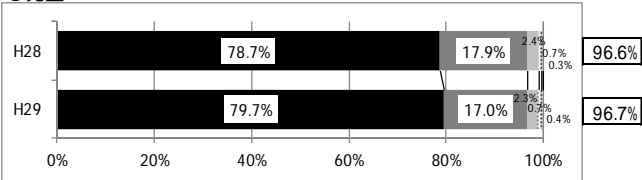
○保護者



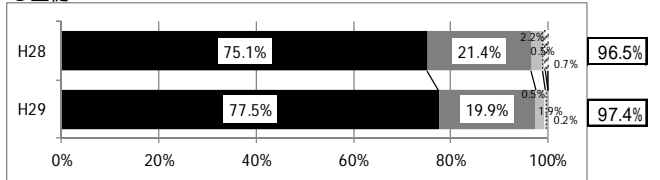
○保護者



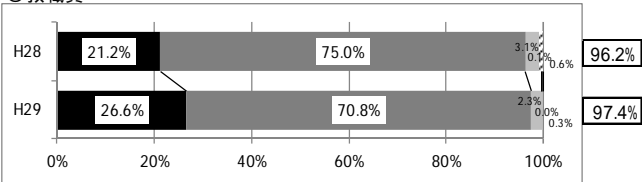
○児童



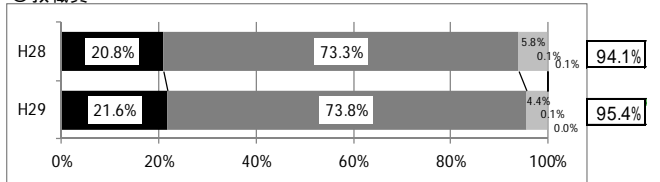
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」という肯定的な評価がすべて95%を超えており、「そう思う」の評価はすべて昨年度より上昇している。これらの結果は、各学校で児童生徒一人一人の人権が尊重される「人間関係づくり」や「環境づくり」が推進された成果であると考えられる。また、その中で、「そう思う」と答えた教職員の割合が20%台であることについては、教職員が子どもたちとしっかりかかわり、つらい思いをしている子どもや厳しい状況にある子どもの声が教職員に届いているからであると分析できる。

今後も、教職員が人権感覚を磨き、子どもの声に耳を傾け、子どもに寄り添いながら、子ども同士をつないでいくための丁寧な指導を継続できるよう、教育委員会としても人権教育の各研修会などで発信していきたい。

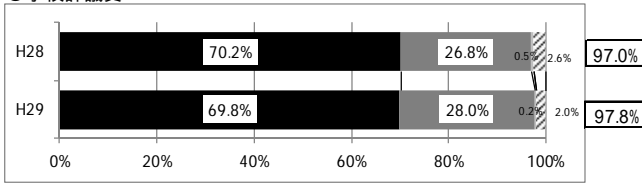
項目3 道徳・心の教育の充実 【指導課】

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 図1-そう思わない 図2-無回答

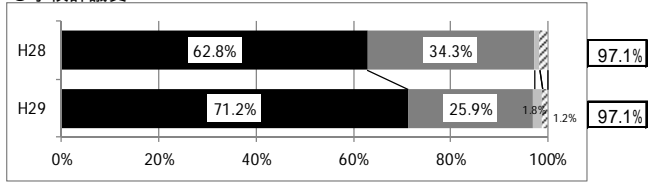
〔小学校〕

○学校評議員

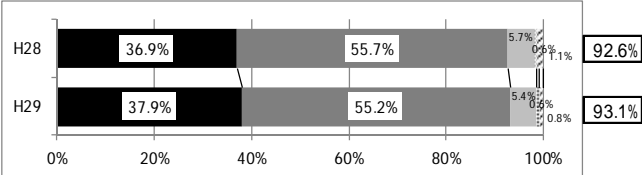


〔中学校〕

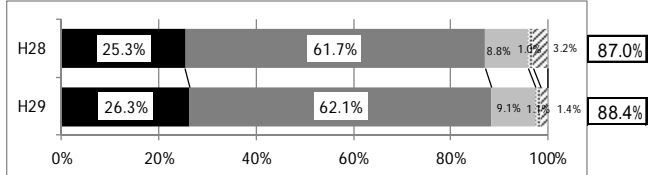
○学校評議員



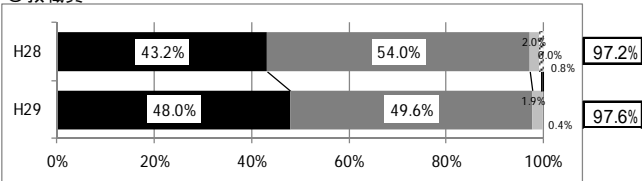
○保護者



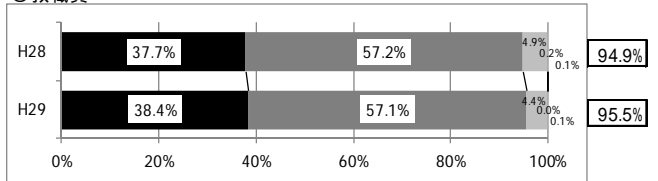
○保護者



○教職員



○教職員



〔分析〕

小中学校における心の教育については、学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ており、一定の理解が得られているものと思われる。また、平成28年度よりも平成29年度が全体的に高い評価を得ていることから心の教育の推進が図られていると思われる。

一方、学校評議員及び教職員に比べると、保護者の「そう思う」の割合が低いことから、保護者は、心の教育の充実にさらにも求めているものと思われる。

小学校の教職員は、肯定的な回答の割合が97%を越え、中学校の教職員も、95%を超えていることから、道徳授業や心の教育に力を入れていることが分かる。

今後も、小中学校では、「道徳の公開授業」などを積極的に行い、心の教育の取り組みについて保護者や家庭へ発信し、地域も含めた連携を深め理解を得るようにしていくことが必要であり、教育委員会では、地域や家庭、学校の連携を深めるため、「心かがやけ月間」や「親子道徳の日」の充実に支援していく必要がある。

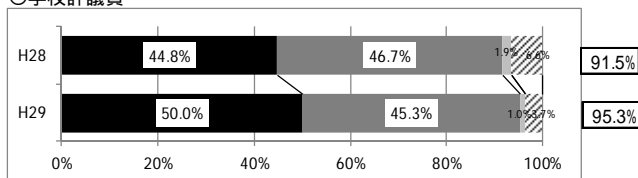
確かな学力を育む教育の推進

項目4 意欲的な学習態度 【指導課】

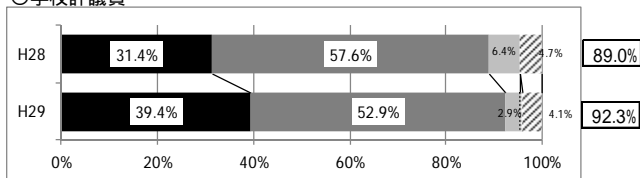
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ㊦ 1-そう思わない ㊧ 無回答

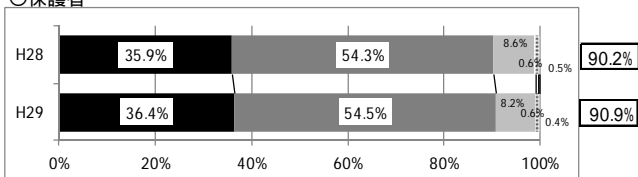
【小学校】
○学校評議員



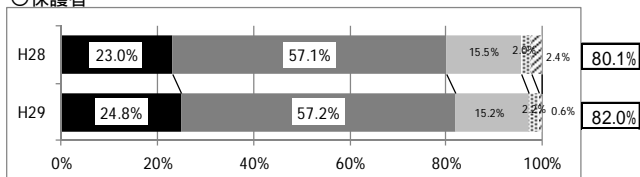
【中学校】
○学校評議員



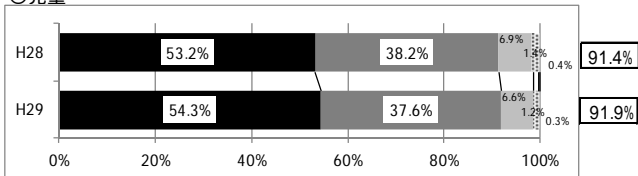
○保護者



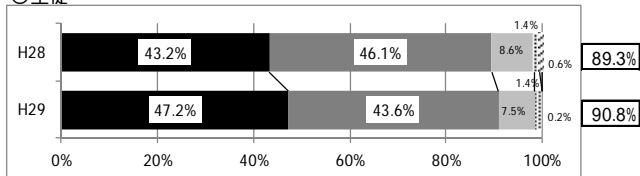
○保護者



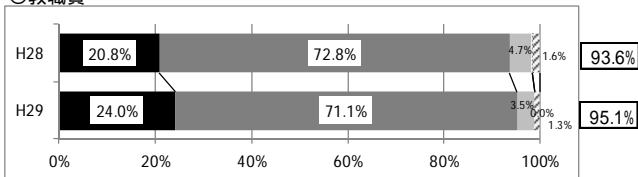
○児童



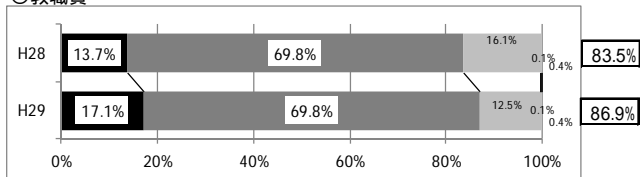
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

小学校においては、学校評議員・児童生徒・保護者・教職員のすべてにおいて肯定的な意見が90%を越えており、中学校もすべてにおいて80%を超えている。全体的に意欲的な学習状況と見ることができ、前年度と比べ、小中すべてで肯定的な意見が伸びているのが特徴である。ただ、保護者と教職員は、小中学校間で肯定的な意見の割合の差が大きいことから、中学校において、生徒が意欲的に学習したくなるような授業づくりの支援を学校訪問や教科主任会等を通して行っていく必要がある。

また、児童生徒及び学校評議員の「そう思う」の割合と比べ、教職員のそれは半分以下となっており、児童生徒の意欲が教職員から認められていない可能性がある。授業後の自己評価や振り返りの内容から、一人ひとりの意欲を丁寧に見取り、返していくことで、更なる意欲につなげていく必要がある。

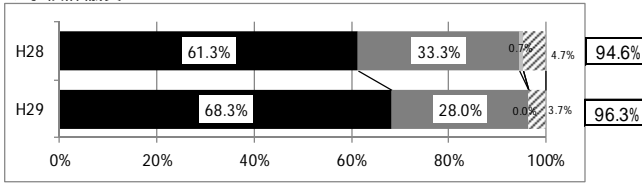
項目5 授業力向上 【指導課】

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

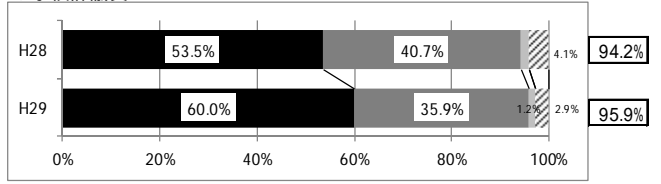
【小学校】

○学校評議員

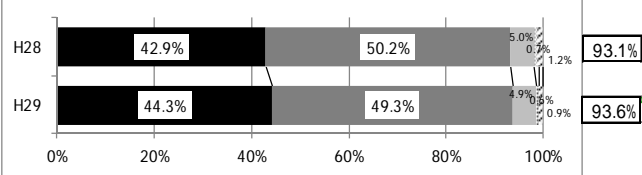


【中学校】

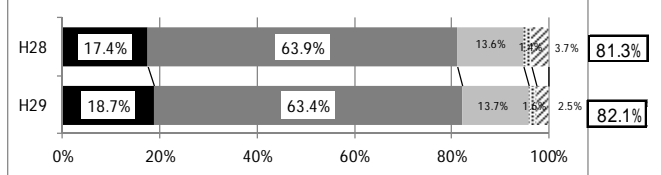
○学校評議員



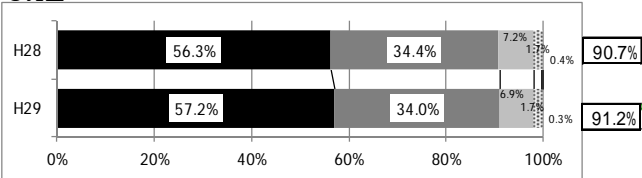
○保護者



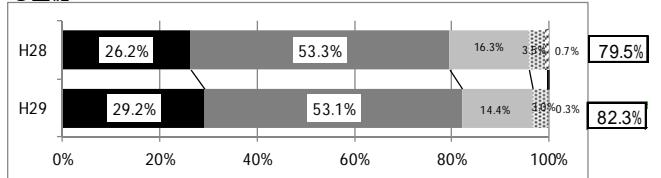
○保護者



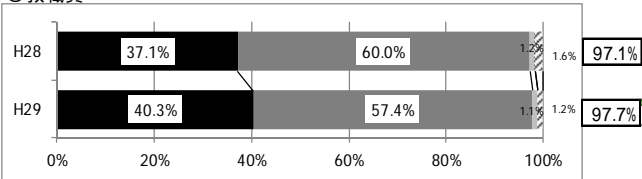
○児童



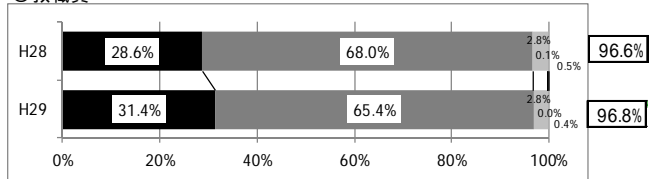
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

学校評議員・児童生徒・保護者・教職員のすべてにおいて、肯定的な意見の割合が小学校においては90%を超え、中学校でも80%を超えている。さらに、すべて前年度を上回っていることから、教職員が授業の改善に継続的に取り組んでいる成果が児童生徒や周囲に伝わっていることがわかる。ただ、小中学校ともに、教職員の「そう思う」の割合が30～40%程度に留まっていることから、よりわかる授業、楽しい授業づくりが望まれるところである。

また、中学校の保護者・生徒ともに、肯定的な意見が教職員のそれと比べ低くなっていること、「そう思う」の割合が小学校の保護者・児童の約半分に留まっていることから、中学校の教職員は、生徒の実態を把握し、教材研究に取り組むとともに、ICT機器の活用や学習活動の工夫等、授業の改善に一層取り組み、子どもたちが学習の成果を実感できるようにしたり、保護者に更に学校を開いたりしていく必要がある。

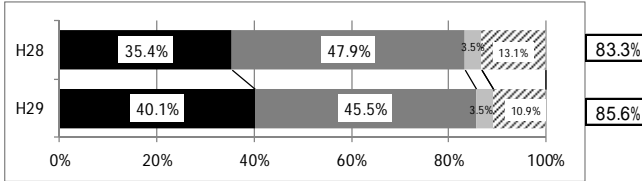
項目6 ICT活用【教育センター】

先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない □ 無回答

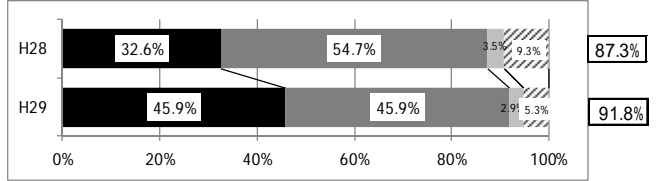
〔小学校〕

○学校評議員

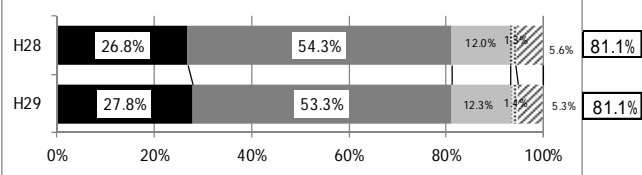


〔中学校〕

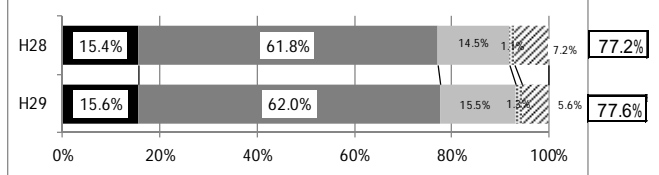
○学校評議員



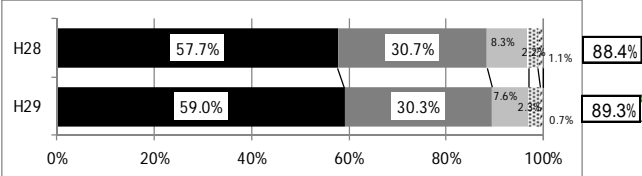
○保護者



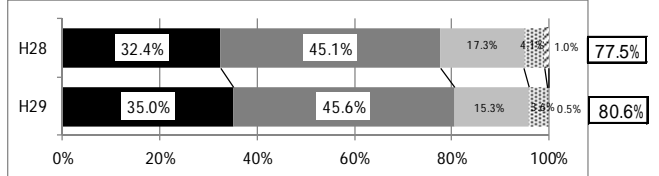
○保護者



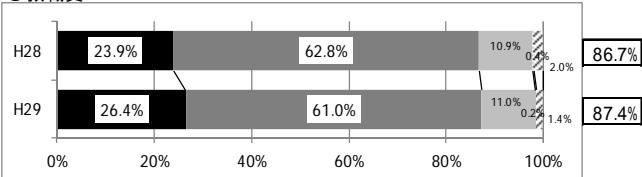
○児童



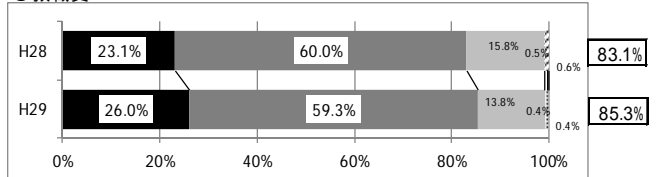
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

教職員については、小学校及び中学校ともに85%以上が「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」といった肯定的な回答をしており、昨年度に比べて向上がみられる。各経年者研修でもICTを活用した授業づくりについての研修を継続的に行う等、研修や支援の充実と合わせて各学校が少しずつ大型テレビや実物投影機等のICT機器整備を行っている結果だと考えられる。

児童・生徒についても、小学校及び中学校において肯定的な評価ポイントが伸びている。特に中学校においては、昨年度は一時的に肯定的な回答のポイントを下げたものの、今年度は一転して大きくポイントを伸ばしている。教職員のICT活用率が上がるにつれて児童・生徒のICT活用への関心・意欲も高まり、授業の中で児童・生徒がICT機器を活用する場が少しずつ増えていると考えられる。

学校評議員については、小学校及び中学校ともに85%以上の肯定的な回答が得られており、各学校においてICT機器を活用して、分かりやすい授業づくりに努めていることが評価されている。特に、中学校評議員からは90%を越える肯定的な評価を得ており、積極的に授業参観等の公開授業を見ていただいた結果が表れていると考えられる。保護者へも学校行事等への積極的な参加を促し、公開授業等で広報していく必要がある。

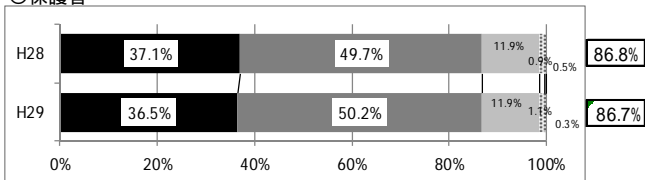
健やかな体を育む教育の推進

項目7 健康づくり 【健康教育課】

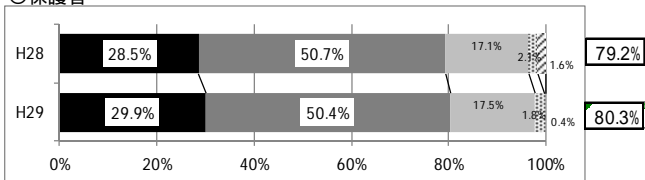
子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 図1-そう思わない 図2-無回答

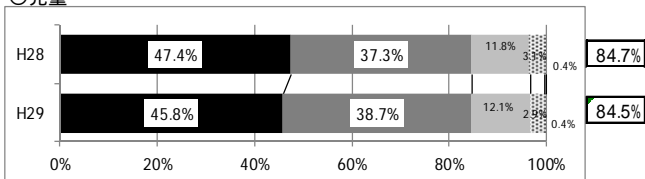
【小学校】
○保護者



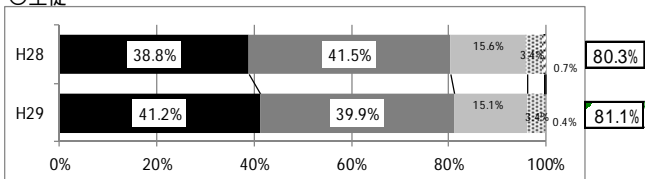
【中学校】
○保護者



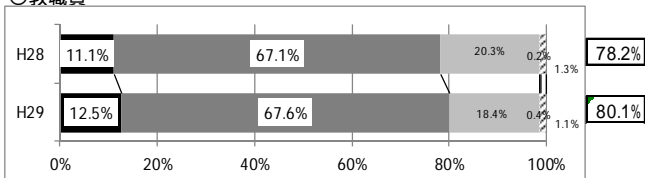
○児童



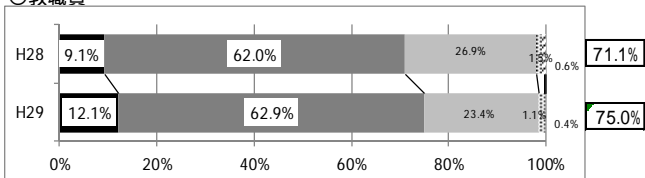
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

児童生徒の望ましい生活習慣の状況について「そう思う」あるいは「どちらかといえば、そう思う」と答えた割合が概ね増加傾向にあり、望ましい生活習慣の育成に向け、学校と家庭が連携して取り組んできた成果が現れてきていることが伺える。

その中で、「そう思う」と答えた割合については、保護者・児童生徒に比べ、教職員の回答は依然として低いことから、学校が更に連携を深めながら取り組みを進め、心身ともに健康な児童生徒の育成を図っていくことが必要である。

(2) 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

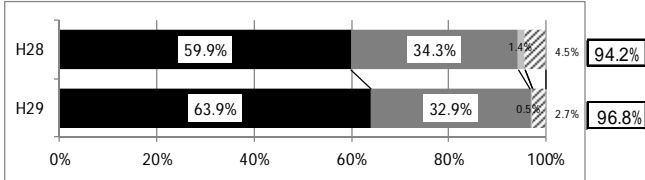
項目8 児童生徒理解 【総合支援課】

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

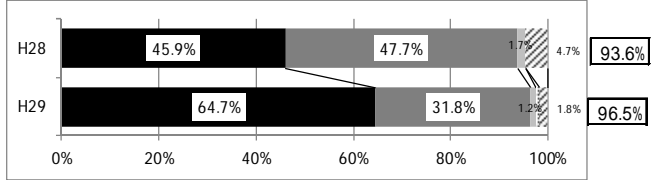
【小学校】

○学校評議員

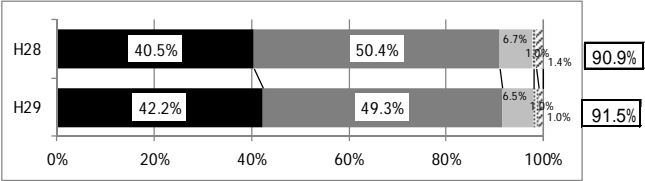


【中学校】

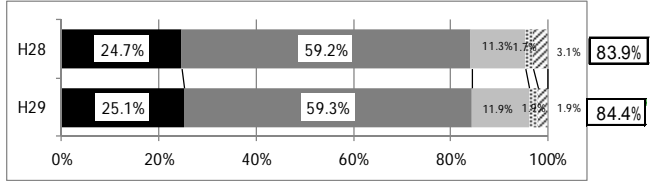
○学校評議員



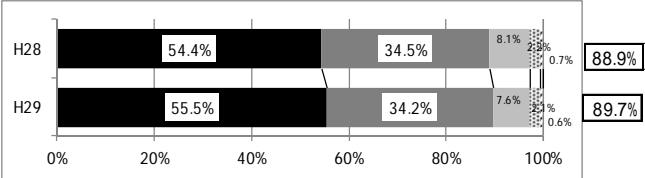
○保護者



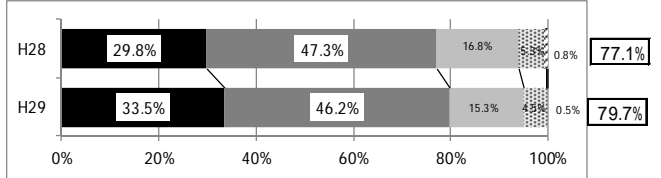
○保護者



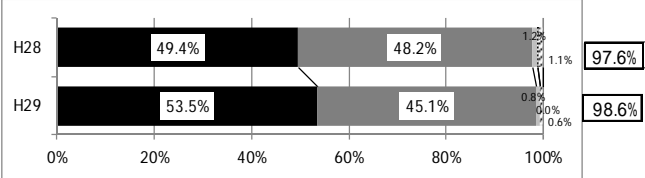
○児童



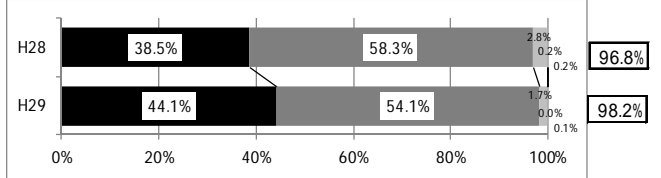
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

昨年度と比較して、学校評議員、保護者、児童生徒、教職員いずれも「そう思う」割合が増している。

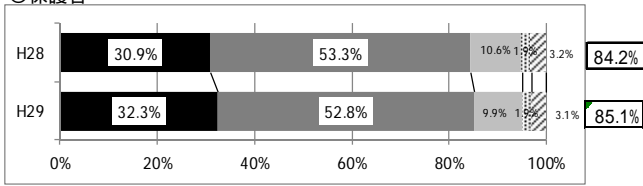
今後も継続して、子どものよさを引き出し、それを生かす教育活動を通して、児童生徒の理解に努めるとともに、その情報を積極的に保護者にも発信していく必要がある。

項目9 いじめや問題への対応 【総合支援課】

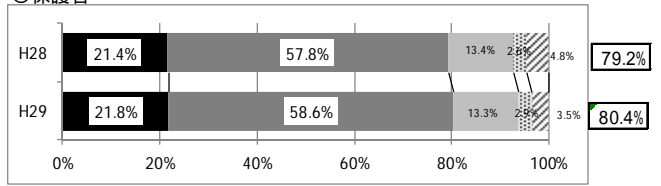
学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫1-そう思わない 点線無回答

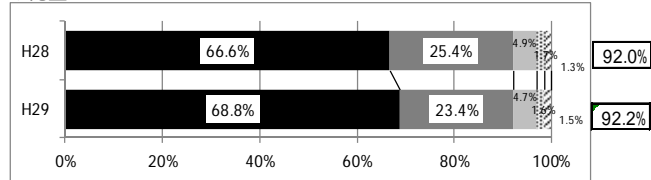
【小学校】
○保護者



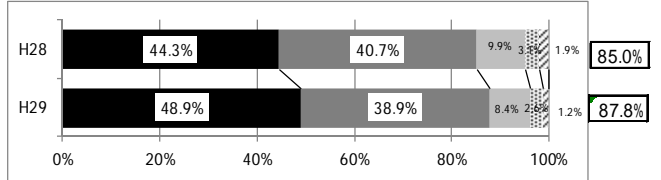
【中学校】
○保護者



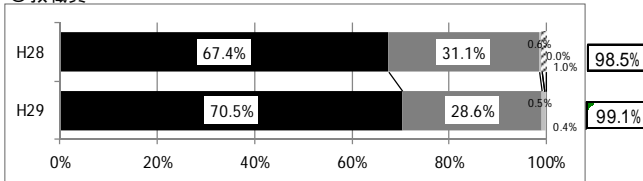
○児童



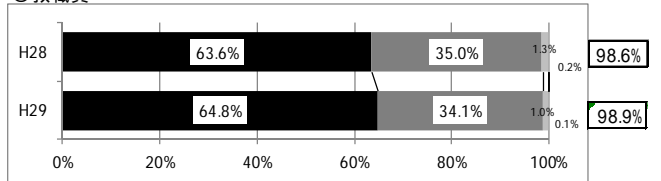
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」の回答の割合は、保護者、児童生徒、教職員間で格差が見られる。特に保護者は、児童生徒の「そう思う」割合の半分程度となっている。

今後も、いじめや問題行動への対応や指導の流れ、結果等について、保護者との密な連絡等により情報を共有するとともに、保護者に対し、学校便りや学級通信等を通して、学校の取組を積極的に周知していく必要がある。

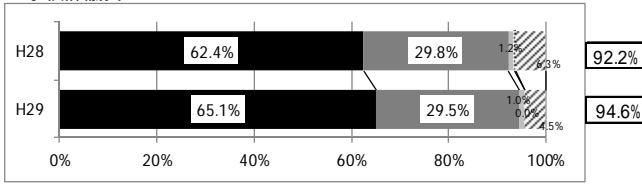
項目10 学校の支援体制 【総合支援課】

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

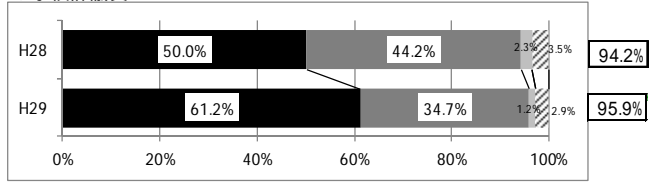
〔小学校〕

○学校評議員

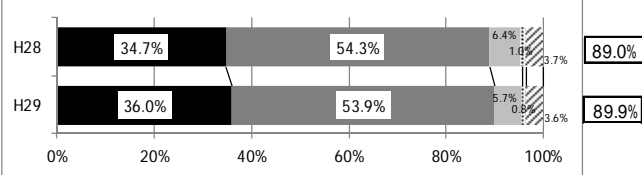


〔中学校〕

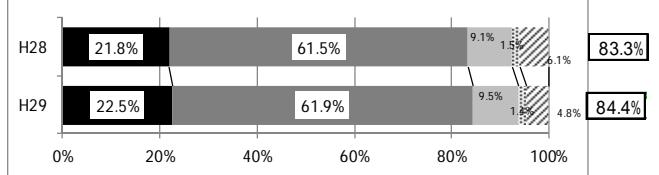
○学校評議員



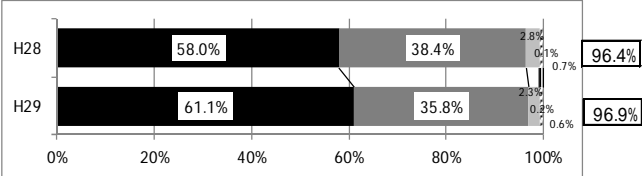
○保護者



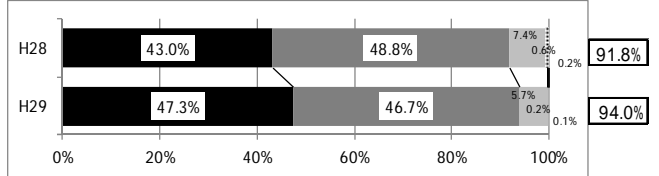
○保護者



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の割合が高く、学校の校内支援等の取り組みは、概ね高い評価を得ている。

学校の取り組みに課題があると回答、または無回答の保護者の割合は、僅かではあるが低くなっている。

今後も引き続き、学校ごとに課題を分析し、改善を図るとともに、保護者等に対して、「支援を必要とする子どもの教育」の理解・啓発を図る。また、対象児童生徒への適切な対応、保護者と連携した支援等、これまでの取り組みをさらに充実していく必要がある。

(3) 安全で良好な教育環境の整備 子どもたちの身近な安全対策の充実

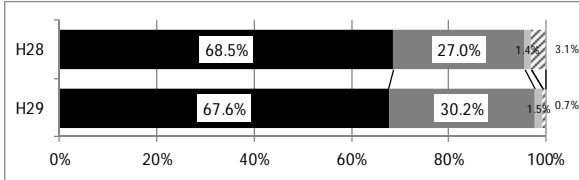
項目11 安全と事故防止 【健康教育課】

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

■ 4-そう思う □ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

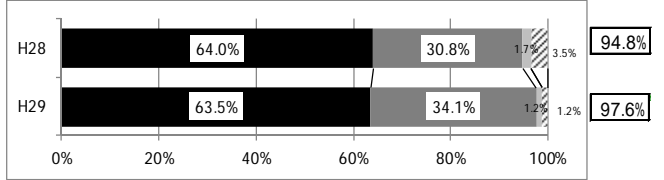
〔小学校〕

○学校評議員

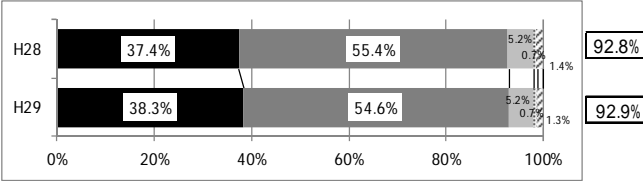


〔中学校〕

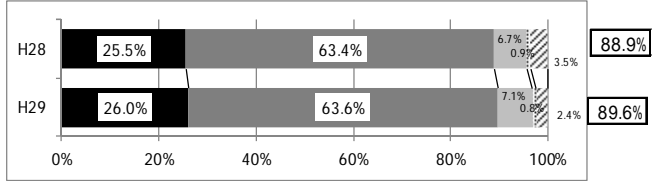
○学校評議員



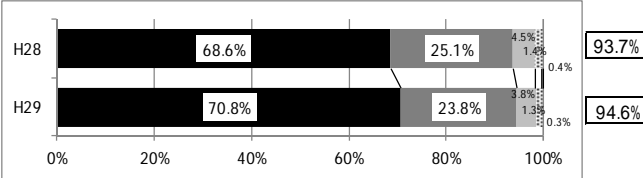
○保護者



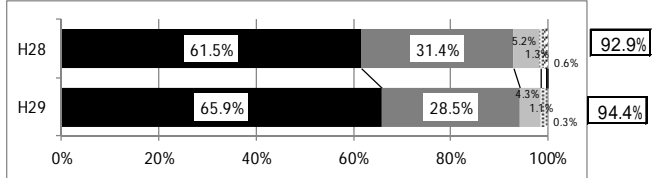
○保護者



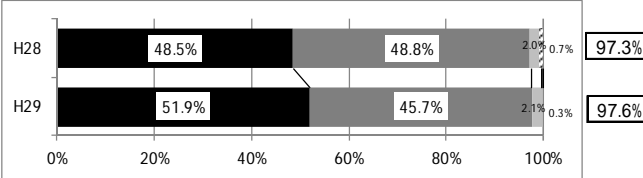
○児童



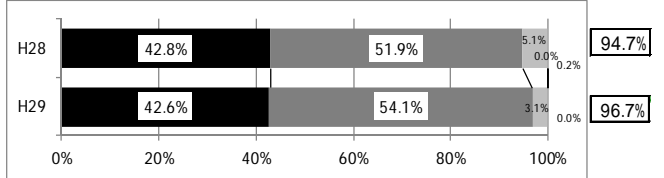
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた方の割合がいずれも高率で推移しており、各学校での安全教育の取り組みが認知されていることが伺える。

今後は、熊本地震の経験を踏まえた安全教育を着実に進めていくことが必要であり、各学校の「学校安全計画」の見直しを進めるとともに、学校安全教育研修会等の開催を通して「自分の命は自分で守る」ことのできる児童生徒の育成を図っていく。

最適な学習環境の整備

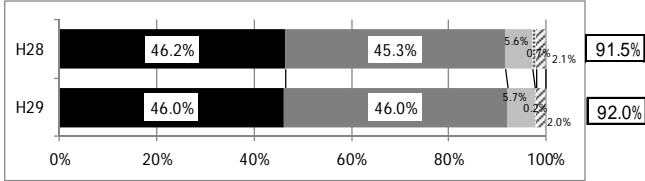
項目 1 2 施設・設備の安全管理 【施設課】

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

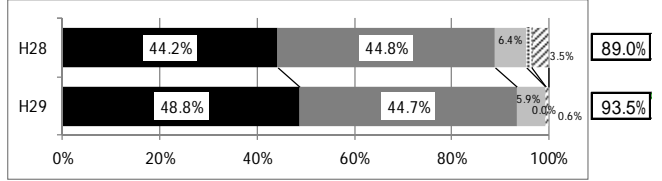
【小学校】

○学校評議員

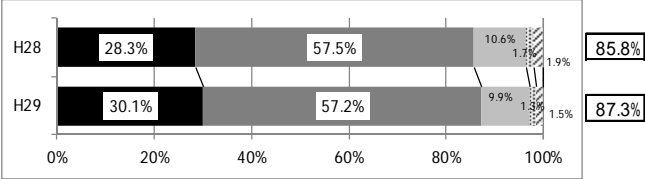


【中学校】

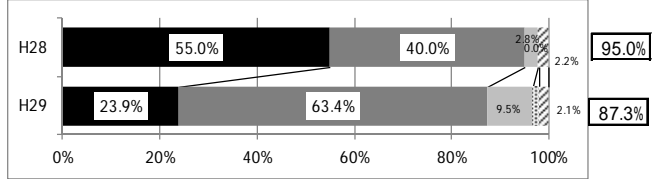
○学校評議員



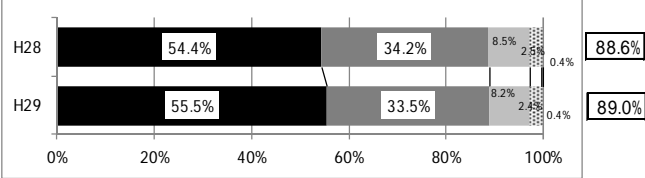
○保護者



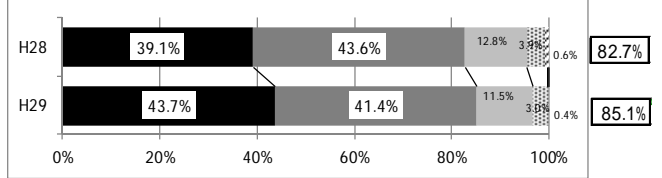
○保護者



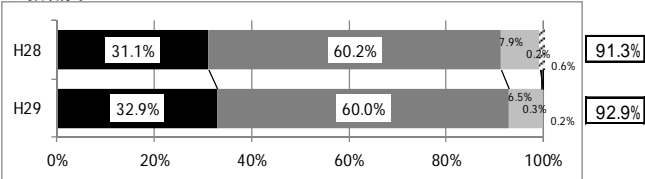
○児童



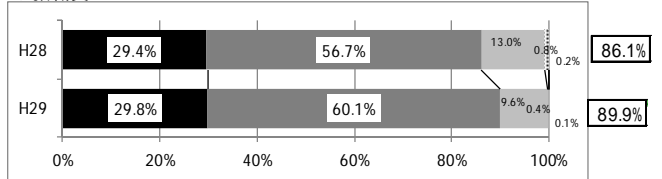
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

中学校において地震で体育館が使用できないことなどにより保護者の肯定的意見が減ったが、その他は肯定的な回答の割合が平成 28 年度より増えている。これは熊本地震による復旧作業を最優先で取り組んだことや施設の維持補修に努めた結果と考えている。

しかしながら、多くの学校で老朽化が進んでおり、今後策定する長寿命化計画や災害時の避難所のあり方も含め、児童生徒はもとより施設を利用される方が安全で安心して過ごせる施設の環境整備に努めていく。

学校規模の適正化と家庭・地域社会との連携強化

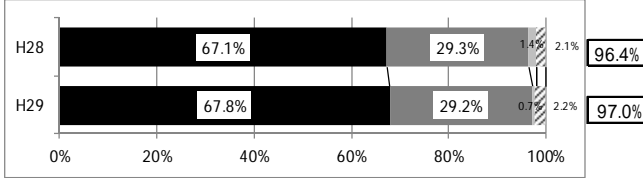
項目 1 3 教育方針・目標の理解 【指導課】

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない ▩ 無回答

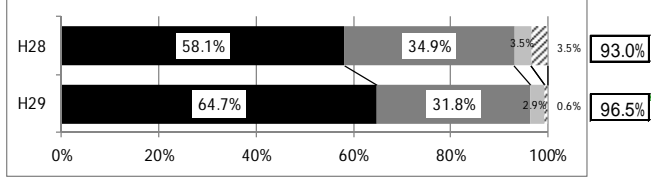
【小学校】

○学校評議員

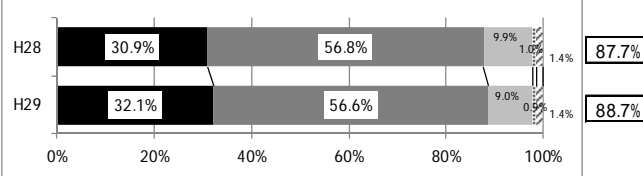


【中学校】

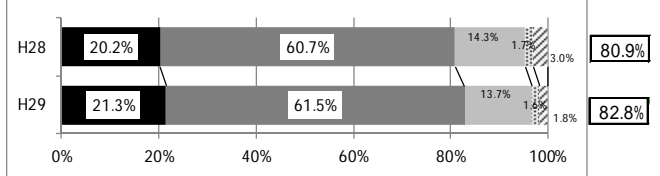
○学校評議員



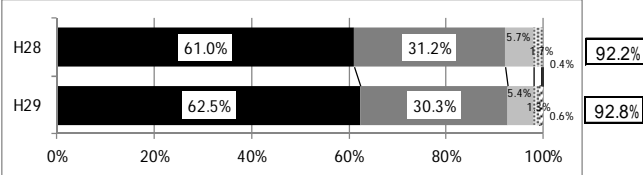
○保護者



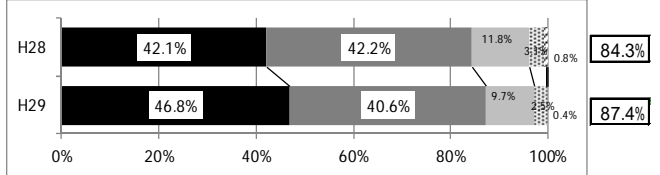
○保護者



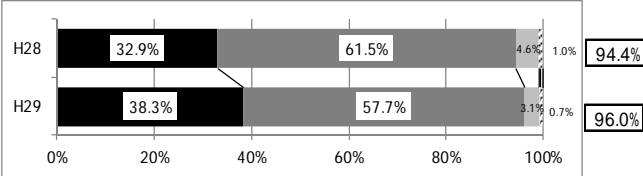
○児童



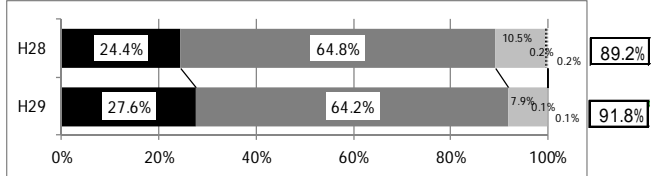
○生徒



○教職員



○教職員



〔分析〕

小学校、中学校ともに学校評議員、保護者、児童・生徒、教職員からの評価は、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の合計は昨年度よりすべて上向いており、ほとんどが85%以上で、教育方針の理解は概ね良好と言える。

ただし、保護者・教職員に関しては、「そう思う」と回答の割合は、小学校においては30%台、中学校においては20%台と、依然低い傾向にある。

校長は、学校の教育目標や指導の重点項目等を分かりやすく且つ丁寧に、継続的に示していく必要がある。また、教職員も、各々の立場や校務から家庭や地域に積極的に発信していく必要がある。

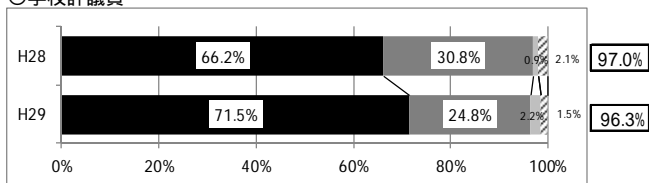
項目 1 4 家庭や地域との連携協力【学務課】

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない ▨ 1-そう思わない □ 無回答

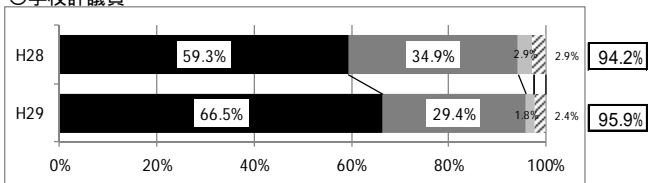
[小学校]

○学校評議員

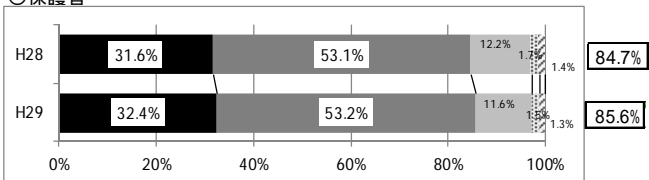


[中学校]

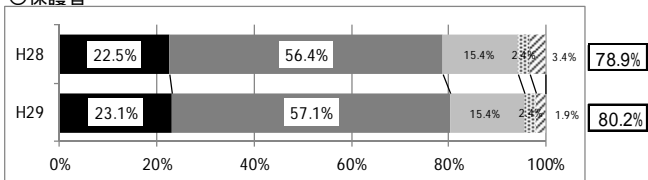
○学校評議員



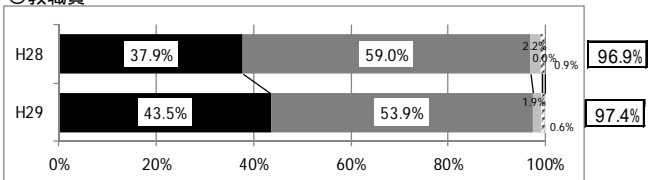
○保護者



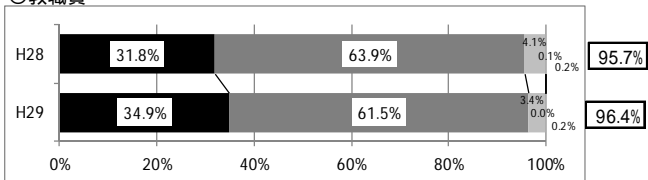
○保護者



○教職員



○教職員



[分析]

肯定的な回答の割合は、小学校、中学校ともに学校評議員、教職員で95%以上、保護者で80%以上になっており、学校が家庭や地域と連携・協力して教育活動を進めていると概ね高い評価をされている。

今後も、家庭や地域との連携協力をさらに進めるために、より一層の情報提供や学校支援ボランティアの活用等を図っていく必要がある。

3 幼稚園の結果及び分析

- 割合の表記は、100分の1%の値を四捨五入しているため、合計の値において±0.1%の誤差が生じる場合がある。
- 枠囲みの数字は、肯定的な回答（「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」）の割合を合計したもの

(1) 徳・知・体の調和の取れた教育の推進

豊かな心をはぐくむ教育の推進

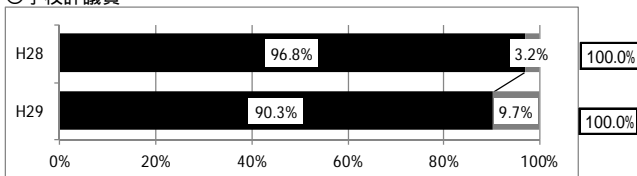
(幼)項目1 一人一人の園児の尊重 【人権教育指導室】

幼稚園は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。

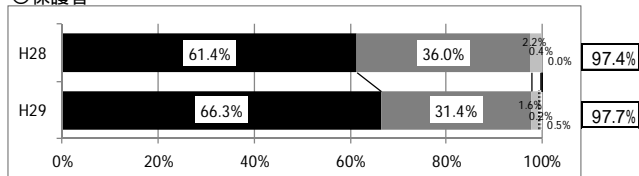
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

[幼稚園]

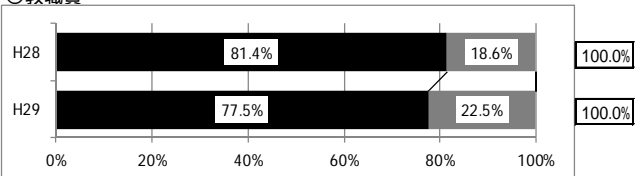
○学校評議員



○保護者



○教職員



[分析]

昨年同様、評議員と教職員の肯定的な評価が100%であることから、園全体で、子ども一人一人を大切にされた教育活動が推進されていることがうかがえる。保護者も肯定的な評価が97.7%と0.3%上昇している。しかし、わずかではあるが否定的な評価もある。これまで以上に子どもや保護者の思いに寄り添い、園での取組等も情報発信しながら、お互いの信頼関係をさらに強めていく必要がある。

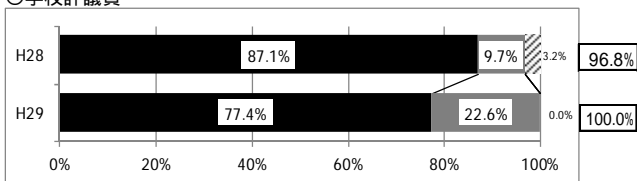
(幼)項目2 友達への思いやり 【人権教育指導室】

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

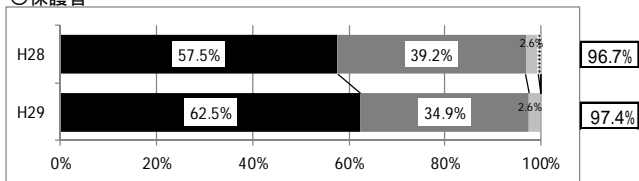
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

[幼稚園]

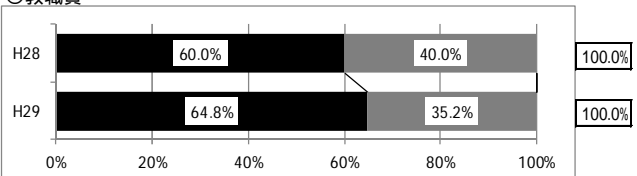
○学校評議員



○保護者



○教職員



[分析]

学校評議員、教職員、保護者の肯定的な評価はすべて高い。しかも保護者と教職員の4「そう思う」の評価の割合は大幅に上昇している。自分や相手の大切さを実感できるような子どもたちを育てるために、一人一人に寄り添ったかわりを大切に、子どもたちを認め、ほめ、励ましている成果である。これからも、子どもたちがお互いの違いを理解し、大切にすることができるような取組を行い、さらに保護者や地域住民等に人権尊重の意識がより一層広まるような取組の工夫に努める必要がある。

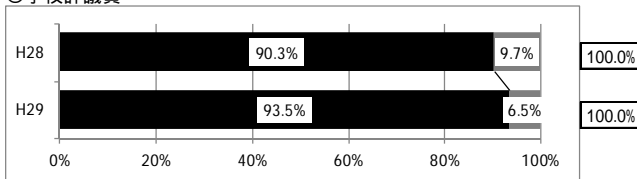
(幼) 項目3 道徳・心の教育の充実 【指導課】

幼稚園は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

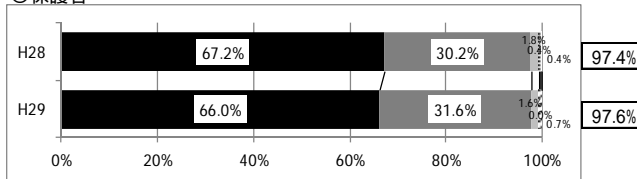
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫 1-そう思わない ㊞ 無回答

〔幼稚園〕

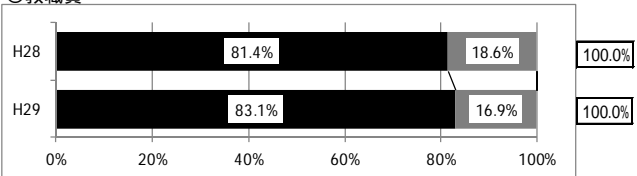
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ている。学校評議員、教職員の肯定的な回答は、100%であり、学校評議員の回答においては昨年よりもかなり高い評価を得ていることから、幼稚園における心の教育について、教職員の努力に対して、一定の理解が得られているものと思われる。

昨年、今年ともに、保護者の「そう思う」の割合が学校評議員と教職員よりも低い傾向にあることから、今後ますます、幼稚園が家庭と一体となり、道徳性の芽生えを培う保育研究を深め、地域の協力も得ながら実践していく必要がある。

確かな学力を育む教育の推進

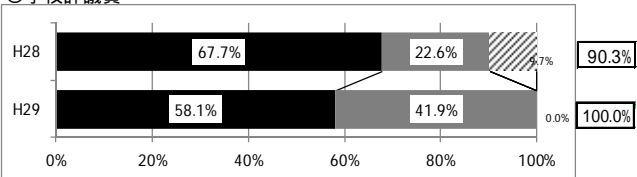
(幼) 項目4 意欲的な活動 【指導課】

子どもは、自分の思いを十分に出し意欲的に活動していると思いますか。

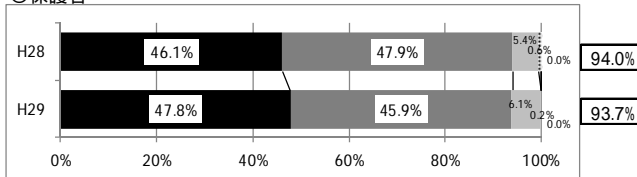
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫 1-そう思わない ㊞ 無回答

〔幼稚園〕

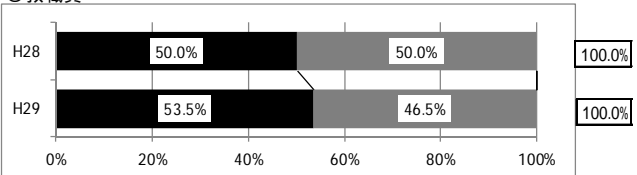
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、教職員ともに肯定評価が100%であり、保護者の評価も非常に高い。全体的にみると昨年度よりも肯定的評価の割合が増加し、良好な結果を得られている。しかし、学校評議員からの評価では「そう思う」の割合が前年度に比べ約10%減少し、保護者の「そう思う」の割合は、昨年同様50%を下回っている。

今後も、幼児理解に努め、個に応じた環境づくりと支援の充実で、子どもの意欲的な活動をうながす保育の改善を図るとともに、幼稚園の取り組みをこれまで以上に地域や保護者へ発信していく必要があると思われる。

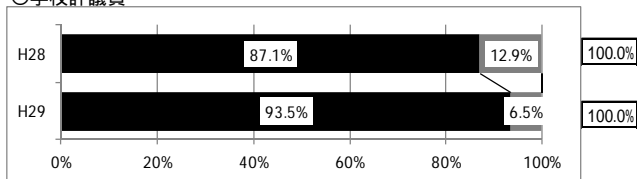
(幼)項目5 遊びや生活の充実 【指導課】

先生方は、子どもの遊びや生活の充実に努めていると思いますか。

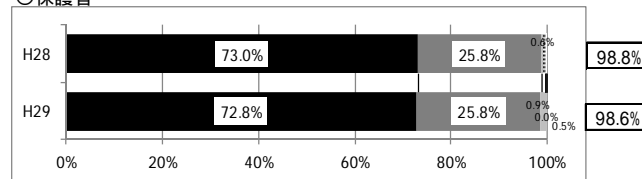
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫 1-そう思わない ㊟ 無回答

【幼稚園】

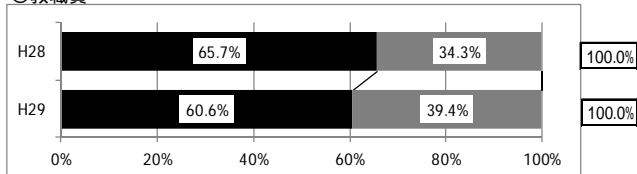
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者および教職員のいずれからも、高い評価を得ている。特に学校評議員からの評価では「そう思う」が約6%増加しており、充実した幼稚園生活を支援する保育が、前年以上に展開されていることがうかがえる。

一方、教職員の肯定的評価は昨年に引き続き100%という高評価であるが、「そう思う」の評価が約5%減少している。今後は園内研修等を通して、更に質の高い保育を目指した指導法の工夫改善について研修を重ね、幼稚園における遊びや生活の充実に向けた計画的・継続的な取組を行う必要がある。

健やかな体を育む教育の推進

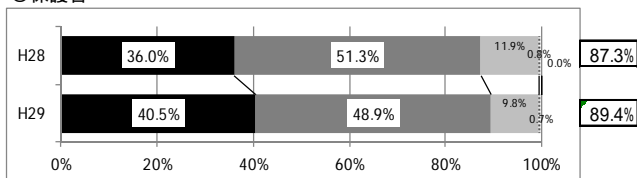
(幼)項目7 健康づくり 【健康教育課】

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

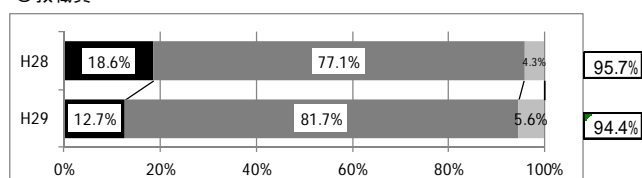
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫 1-そう思わない ㊟ 無回答

【幼稚園】

○保護者



○教職員



〔分析〕

園児の望ましい生活習慣の状況について、「そう思う」「どちらかと言えば、そう思う」と答えた方の割合は高率で推移しているものの、「そう思う」と答えた方の割合だけを見ると、保護者と教職員の間に差があり、家庭と各園が連携を深めながら、望ましい基本的生活習慣の育成の取り組みを進めていく必要がある。

(2) 子ども一人ひとりを大切にする教育の推進
いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

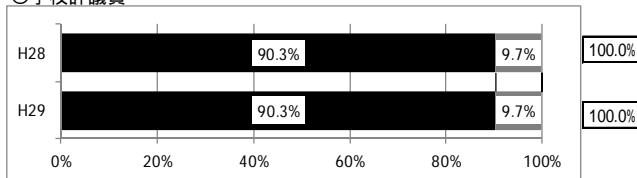
(幼)項目8 児童生徒理解 【総合支援課】

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。

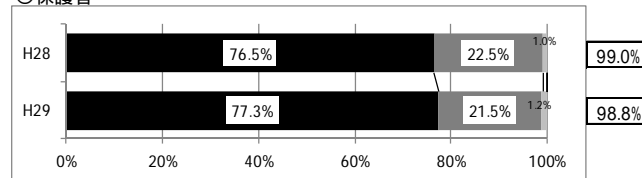
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫 1-そう思わない ㊞ 無回答

【幼稚園】

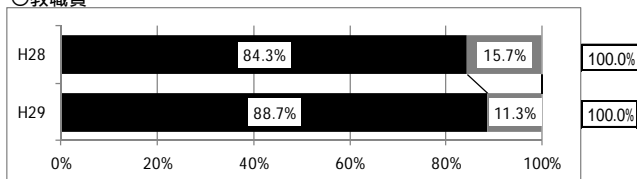
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員のいずれも評価は高い。教職員の幼児の理解に努める姿勢が、学校評議員や保護者にも評価されているものと思われる。

今後も引き続き、保護者との連携をさらに深め、幼児一人一人の理解に努め、子どものよさが生かされる教育を展開することが必要である。

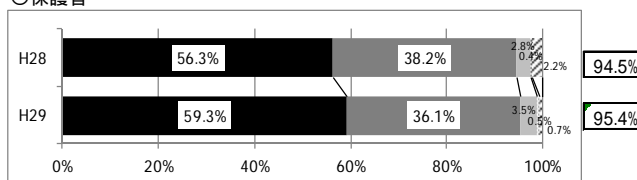
(幼)項目9 いじめや問題への対応 【総合支援課】

幼稚園では、いじめや問題があったとき、すぐに対応してくれていると思いますか。

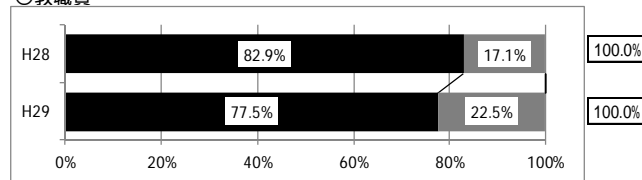
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない 罫 1-そう思わない ㊞ 無回答

【幼稚園】

○保護者



○教職員



〔分析〕

教職員の「そう思う」割合が減少しているところは課題としてとらえ、いじめや問題行動の未然防止・早期発見・早期解決の意識を益々高めていく必要がある。

また、保護者が「そう思う」割合は教職員と格差が見られるため、幼稚園での取組を保護者や地域に積極的に情報発信し、情報を共有しながら取組を推進する必要がある。

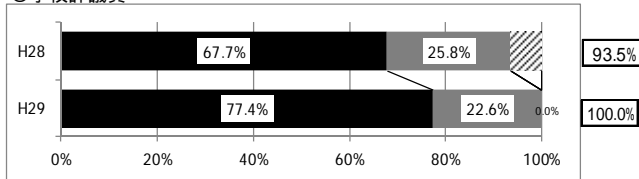
(幼)項目10 幼稚園の支援体制 【総合支援課】

幼稚園は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

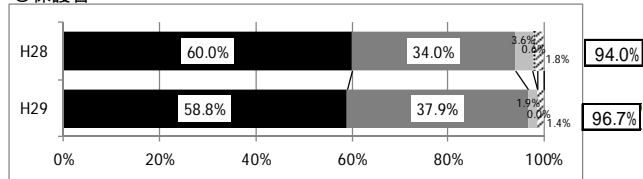
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

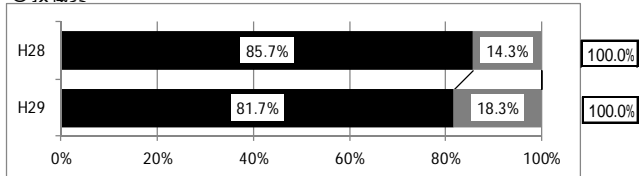
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員のいずれからも高い評価を得ている。教職員と保護者が共通理解を図りながら幼児のニーズに応じた教育を進めていると捉えることができる。

さらなる充実に向け、園ごとに課題の分析・改善を図るとともに、今後、「支援を必要とする子どもの教育」に関する保護者への啓発、保護者が安心して相談できる体制の整備、支援を必要とする子どもへの適切な対応等、園全体で組織的に取り組んでいく必要がある。

(3) 安全で良好な教育環境の整備

子どもたちの身近な安全対策の充実

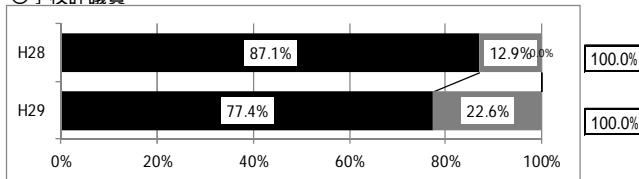
(幼)項目11 安全と事故防止 【健康教育課】

幼稚園は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

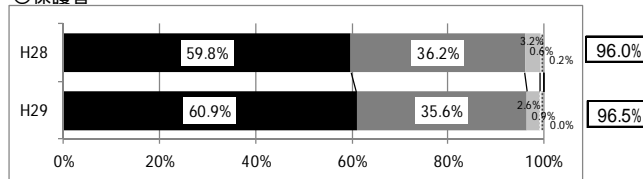
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

〔幼稚園〕

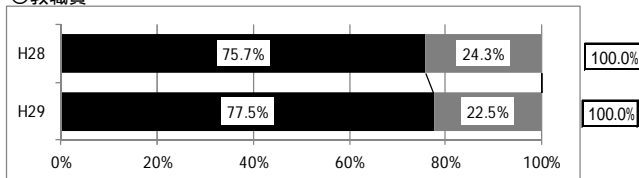
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、教職員、保護者とも「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と答えた方の割合は概ね高率で推移しており、各園での安全教育の取り組みが認知されていることが伺える。

園によっては、自転車による送迎の際、園児へのヘルメット着用を奨励するなど、保護者と一体となった安全教育の実施や保護者への奨励等を積極的に行っている。また、熊本地震を契機に防災に対する意識も向上しているものと思われ、今後も継続して、発達段階に応じたより具体的な安全教育を実施し、その内容等についても積極的に保護者と共有し、連携していく。

最適な学習環境の整備

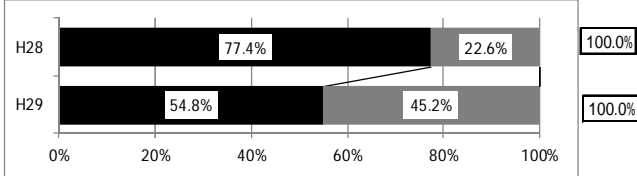
(幼)項目12 施設・設備の安全管理 【施設課】

幼稚園の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

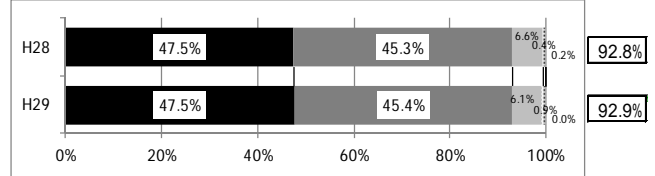
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

【幼稚園】

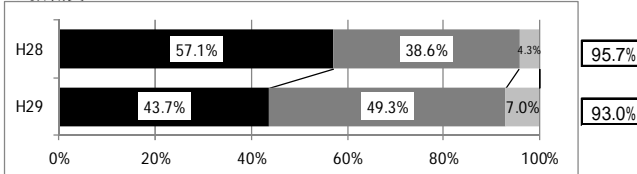
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

全体的に肯定的な回答は高いが、教職員について平成28年度より当該回答の割合が減少している。老朽化が進んでいる現状は認識しており、今後も保護者や幼稚園の要望を聞きながら園児や施設を利用される方が安全で安心して過ごせる施設の環境整備に努めていく。

学校規模の適正化と家庭・地域社会との連携強化

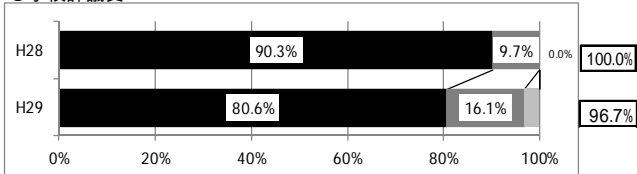
(幼)項目13 教育方針・目標の理解 【指導課】

幼稚園は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

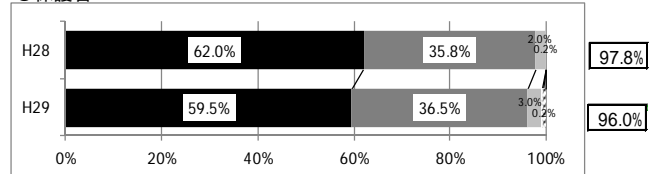
■ 4-そう思う ■ 3-どちらかといえば、そう思う □ 2-どちらかといえば、そう思わない □ 1-そう思わない □ 無回答

【幼稚園】

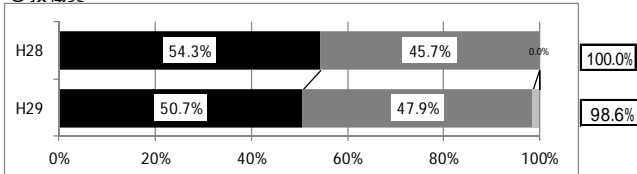
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

学校評議員、保護者及び教職員による肯定的な回答の割合が高く、教育方針や教育目標などについて一定の理解を得られていると思われるが、昨年度に比べると三者ともその割合が減少している。

また、「そう思う」と回答した割合は、学校評議員に比べて保護者・教職員の割合が低く、50%台に留まっている。

園長は、園の教育目標等を分かりやすく提示するとともに、保育など具体的な実践を継続的に家庭と地域に発信し、園の教育に対する理解を求めていくことが必要である。また、教職員も、各々の立場から家庭や地域に積極的に発信していく必要がある。

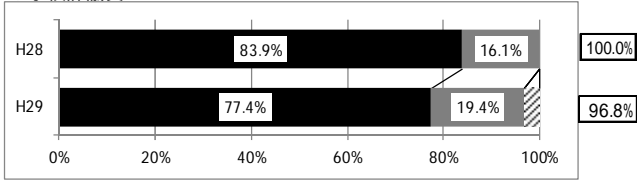
(幼)項目14 家庭や地域との連携協力【学務課】

幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

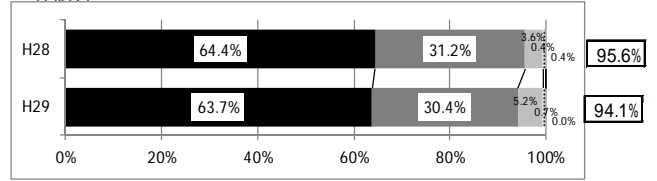
■ 4- そう思う ■ 3- どちらかといえば、そう思う □ 2- どちらかといえば、そう思わない ▨ 1- そう思わない ☒ 無回答

〔幼稚園〕

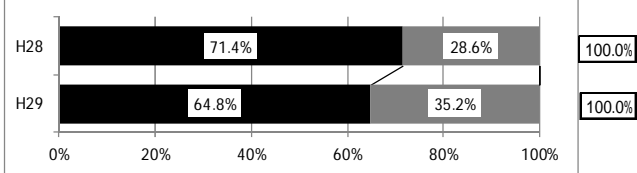
○学校評議員



○保護者



○教職員



〔分析〕

肯定的な回答の割合が、学校評議員で97%、保護者で94%、教職員で100%と高い割合を示しており、幼稚園は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると高く評価されていることが分かる。

今後も、この高い評価が継続するよう、幼稚園は、家庭と地域との連携協力をさらに進めていくことが大切である。